

承認番号	2728
研究課題名	関節鏡手術後の軟骨、半月板変化に対するMRIを用いた定量的評価
研究の意義・目的	膝関節内病変に対する手術として、靱帯再建術、半月板縫合、切除術、脛骨高位骨切り術などがある。いずれの手術も疼痛軽減のために行われるが、長期経過観察によって軟骨変性が進行することがレントゲンにおいて確認される場合がある。以前の軟骨変性の評価としては早期に行う場合、再度関節鏡手術を行うという侵襲度の高い処置が必要であった。そこで我々はより低侵襲であるMRI検査によって軟骨評価を行うことを目的とする。MRIは以前まで軟骨の剥離、欠損を評価するのみであったが、近年、MRI技術の向上し、T2, T1ρマッピングという技術によって軟骨、半月内部の変化をとらえ、一見正常に見える軟骨、半月の質的評価が可能となってきた。このT2, T1ρマッピングの技法を使用して、より低侵襲に軟骨、半月変性を評価することが今回の目的である。
研究期間	倫理委員会承認後～2019年11月30日(西暦)
研究対象者の範囲	2014年1月9日～2017年11月30日に大阪市立大学医学部附属病院整形外科で、膝疾患の診断、治療のため受診された入院、通院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、単純レントゲン、MRI
利用者の範囲	得られた情報は自施設のみで利用します。これには、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。
研究機関の情報	(該当しません)
代表施設のURL	(該当しません)
試料・情報を公表する方法	国内外の整形外科領域を中心とした学術集会や学術誌にて報告することで情報を公開します。この時、個人情報が特定される事はありません。
試料・情報の提供方法	(該当しません)
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 橋本祐介
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究組織：大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 住所：545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話：06-6645-2121 研究代表者：橋本祐介